

福祉健康部地域医療課

平成31年3月25日 厚生消防委員会

調査事項に係る資料

- ・ 平成31年度生駒市立病院事業計画書 (資料1)
- ・ 平成31年度生駒市立病院事業計画書説明資料 (資料1-2)
- ・ 生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書について (資料1-3)

平成 31 年度

生駒市立病院 事業計画書

生 駒 市 立 病 院

# 目 次

1. 医療提供計画	
(1) 診療科目	1
(2) 病床数	1
(3) 人員体制	2
(4) 患者数	3
(5) 質の高い医療の提供	4
(6) 地域完結型の医療体制構築への寄与	5
(7) 救急医療の充実	7
(8) 小児医療の充実	8
(9) 災害時医療の確保	8
(10) 予防医療の啓発	8
(11) 市民参加による運営	9
(12) 環境に配慮した運営	9
2. 施設管理計画	10
3. 組織図	11
4. 収支計画	12

## 1. 医療提供計画

(1) 診療科目目	<p>16 診療科</p> <p>内科            消化器内科            循環器内科            外科            脳神経外科            整形外科            形成外科            小児科            腎臓泌尿器科            産婦人科            リハビリテーション科            放射線科            救急科            麻酔科            血管外科            皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 診察日 月曜日～土曜日（祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く）</li> <li>・ 診察時間            午前診察 9：00～12：00            夕方診察 17：00～19：00(土曜日除く)</li> <li>・ 受付時間            午前診察 8：00～12：00            夕方診察 16：30～19：00(土曜日除く)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師の確保を図ります。</li> <li>・ 患者の医療ニーズに対応するため、引き続き、専門外来の充実、院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。</li> </ul>
(2) 病床数	<p style="text-align: center;">（平成 32 年 3 月 31 日）</p> <p>実稼働可能病床数      210 床</p> <p>小児科            5 床            産婦人科        20 床            内科系           87 床            外科系           90 床            HCU             8 床</p> <p>病棟編成</p> <p>5 病棟、7 対 1 看護基準（一般）            4 対 1 看護基準（HCU）</p> <p>看護体制のさらなる充実を目指し、10:1 から 7:1 に看護基準のアップを図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携の強化に取り組み、既存病床の利用率の向上を目指します。</li> <li>・ 重症の救急患者や術後患者等に対応するため、HCUを増床します。</li> <li>・ 小児科の常勤医師の増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を整備します。</li> </ul>

(3) 人員体制

(平成 32 年 3 月 31 日)

		常勤
医師	内科	3 名
	消化器内科	2 名
	循環器内科	2 名
	外科	3 名
	脳神経外科	1 名
	整形外科	2 名
	形成外科	2 名
	小児科	2 名
	腎臓泌尿器科	2 名
	産婦人科	2 名
	リハビリテーション科	1 名
	放射線科	1 名
	救急科	1 名
	麻酔科	2 名
	血管外科	1 名
	皮膚科	1 名
	計	28 名
看護師	外来部門	41 名
	入院部門	107 名
	内) 准看護師	5 名
	内) 助産師	14 名
	内) 保健師	0 名
計	148 名	
その他	薬剤師	13 名
	理学療法士	12 名
	作業療法士	3 名
	言語聴覚士	3 名
	放射線技師	8 名
	検査技師	10 名
	栄養士	3 名
	看護助手	15 名
	臨床工学技士	5 名
	事務職員等	47 名
	計	119 名
合計	295 名	

○医療従事者の確保の方法について  
(医師の確保)

特に常勤医師が不足している脳神経外科、救急科、小児科、産婦人科の診療科を中心に、常勤医師の確保、増員を図ります。

医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、引き続き勤務環境の改善を行います。

(看護師、医療スタッフ等の確保)

引き続き学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。

研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。

リハビリテーション科については、入院患者の廃用症候群の防止、機能回復の促進により、早期の社会復帰を目指し、理学療法士の 365 日の稼働が可能になるよう実施を目指し、理学療法士の増員を図ります。また、作業療法士、言語聴覚士についても引き続き確保に取り組めます。

(4)  
患者数

1日平均患者数

	入院	外来
4月	150.0 人	220.5 人
5月	150.0 人	220.5 人
6月	155.0 人	221.0 人
7月	155.0 人	222.0 人
8月	155.0 人	227.0 人
9月	160.0 人	227.0 人
10月	160.0 人	227.0 人
11月	160.0 人	232.0 人
12月	165.0 人	232.0 人
1月	165.0 人	237.0 人
2月	165.0 人	237.0 人
3月	165.0 人	237.0 人
年間平均	158.7 人	228.3 人

○入院・外来患者数の増加に向けた取組

特に入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、市立病院の医療に関する必要な情報を積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。

(市民への周知の取組)

- ・ホームページ、SNS（ツイッター、Face book）、病院だより、鉄道の車内広告等による広報活動の推進
- ・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む）の推進

(地域の医療機関への周知の取組)

- ・地域の医療機関への情報提供の推進
- ・病診連携懇話会の開催

(5)  
質の高い医療の提供

安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとって最適な治療・ケアを行います。

引き続き、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組み、また、ダ・ヴィンチ手術については、対応できる症例の拡大を目指します。

患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。

○医療サービスについて

- ・手術件数（全体） 1,392 件
  - 外科 312 件
  - 整形外科 240 件
  - 形成外科 660 件
  - 腎臓泌尿器科 60 件
  - 産婦人科 120 件

- ・分娩件数 168 件

- ・産科交流会

※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。

- ・医療機器等の整備

必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。

(導入予定機器)

- ・乳房X線撮影装置（マンモグラフィー）
- ・高気圧酸素治療装置
- ・高圧蒸気滅菌器の増設

主要疾病（4 疾病）に係る医療体制

がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学医学部奈良病院）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実

脳卒中 近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実

急性心筋梗塞 近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制の充実

糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実

○患者満足度の向上について

- ・入院・外来患者アンケート調査の実施

- ・ご意見箱の内容に対応

アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、ホームページ・情報モニター・病院だよりで公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。

- ・院内スタッフ対象の接遇研修の実施

<p>(5) 質の高い医療の提供</p>	<p>(医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、今年度発行予定の病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理委員会（毎月1回開催）</li> <li>・医療安全カンファレンス（毎週1回開催）</li> <li>・医療安全勉強会（年2回開催）</li> </ul> <p>(医療事故に対する対応について) 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の安全確保と救命処置を最優先します。</li> <li>・病院内における事故等の報告を速やかに行います。</li> <li>・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。</li> <li>・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。</li> <li>・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。</li> </ul> <p>(院内感染対策について) 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会（毎月1回開催）</li> <li>・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加）</li> <li>・ICT ラウンド（毎週1回開催）</li> <li>・感染勉強会（年2回開催）</li> <li>・院内感染対策に係る地域医療連携（合同カンファレンス 年2回参加）</li> </ul>
<p>(6) 地域完結型の医療体制構築への寄与</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域連携パスについては、県や地域の医療機関、医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床については、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、TCLS（徳洲会二次救命処置法）などの対象者が広範囲で、地域医療の発展に寄与できるようなプログラムの充実を図るとともに、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、PR や周知を強化します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療教育プログラム</li> <li>・病診連携懇話会</li> </ul>

(6) 地域完結型の医療体制構築への寄与

○周辺の他の医療機関との連携について

医師会への医療機能等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き推進します。

市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。

・オープン利用件数（年間）

MRI	280 件
CT	100 件
内視鏡	20 件
エコー	20 件

医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的に PR します。

（平成 32 年 3 月 31 日時点）

- ・医療連携登録医 80 施設
- ・協力医療機関連携施設 80 施設

地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。

- ・紹介率 45%
- ・逆紹介率 20%

○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について

地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 1 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。

専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行ないます。

地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、やまと西和ネットへ参加します。

市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。

(7)  
救急医療の充実

救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24時間365日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。  
奈良県総合医療センター、近畿大学医学部奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。

○救急医療体制について

- ・救急受入件数 2,000件
- ・救急応需率 95%
  
- ・市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、救急医療の連携強化を目指します。
  
- ・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。
  
- ・北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、小児科常勤医師の増員に努めます。
  
- ・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な県からの参加要請に対応できるように、産婦人科の常勤医師のさらなる確保に努めます。

○救急に対する人員体制

救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。

(夜間救急受入体制)

- ・医師 1名の夜間時間外担当医及び1名の常勤当直医  
専門医によるオンコール体制
- ・外来看護師 2・3名の当直
- ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各1名の当直

○救急についての診療科毎の対応レベルについて

休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAGによる心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。

産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。

(8) 小児医療の充実	<p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師2名体制を目指します。</li> <li>・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。</li> </ul>																		
(9) 災害時医療の確保	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について</p> <p>災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや地域住民による実地訓練を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練)</li> <li>・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練)</li> </ul> <p>市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、災害時の連携強化を図ります。</p>																		
(10) 予防医療の啓発	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>また、市民健診については、地域の診療所では対応できない、又は対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実していきます。</p> <p>○疾病予防機能の強化について</p> <p>市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、在宅医療など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市が実施する医療講演会等に対して協力します。</p> <p>また、市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。</p> <p>乳がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施の方向で進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療講演会（自治会等各種団体への出張講座含む） 月4回程度実施</li> <li>・市民健診           <table border="0" data-bbox="300 1473 766 1697"> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>220件</td> </tr> <tr> <td>胃がん(胃内視鏡)検診</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>40件</td> </tr> <tr> <td>特定健診</td> <td>700件</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>550件</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>550件</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,100件</td> </tr> </table> </li> <li>・高齢者定期予防接種           <table border="0" data-bbox="300 1765 766 1832"> <tr> <td>インフルエンザ</td> <td>330件</td> </tr> <tr> <td>肺炎球菌</td> <td>150件</td> </tr> </table> </li> </ul>	大腸がん検診	220件	胃がん(胃内視鏡)検診	200件	肝炎ウイルス検診	40件	特定健診	700件	一般健診	550件	人間ドック・脳ドック	550件	その他団体健診等	1,100件	インフルエンザ	330件	肺炎球菌	150件
大腸がん検診	220件																		
胃がん(胃内視鏡)検診	200件																		
肝炎ウイルス検診	40件																		
特定健診	700件																		
一般健診	550件																		
人間ドック・脳ドック	550件																		
その他団体健診等	1,100件																		
インフルエンザ	330件																		
肺炎球菌	150件																		

<p>(11) 市民参加による運営</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査（中間報告を含む）について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市立病院管理運営協議会</li> <li>・入院・外来患者アンケート調査</li> <li>・ご意見箱の内容に対する対応</li> </ul> <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康フェスティバル</li> <li>・院内コンサート等</li> </ul>
<p>(12) 環境に配慮した運営</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。</li> <li>・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。</li> </ul>

## 2. 施設管理計画

生駒市立病院の施設、設備を計画的かつ効率的に維持管理します。

### ○ 電気設備

区分	業務内容		実施予定月															
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
法定点検	①	C S点検	自動火災報知設備	●							●							
			防火・防排煙設備	●							●							
			ガス漏れ火災警報設備	●							●							
			総合操作盤	●							●							
			火災通報装置	●							●							
			誘導灯設備	●							●							
			非常用放送設備	●							●							
	②	非常用発電設備 消防機器・総合点検	消防機器点検								●							
		消防総合点検	●															
保守点検	①	太陽光モジュール部保守	日常の保守端末での運転状況の把握及び目視等による管理及び当院からの要請の都度、故障修理及び点検・清掃・調整等の作業を行います。															
	②	直流電源盤点検																
	③	ナースコール保守																
	④	UPS装置保守																
	⑤	ITV設備・講堂AV設備点検																

### ○ 衛生設備

区分	業務内容		実施予定月													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
法定点検	①	水槽清掃及び水質検査												●		
	②	消防設備保守点検	●								●					
	③	医療ガス設備保守点検											●			
保守点検	①	衛生・消火 各種ポンプ点検	●								●					
	②	厨房用自動消火装置点検	●								●					
	③	給湯・蒸気ボイラーメンテナンス	日常の保守端末での運転状況の把握及び目視等による管理及び当院からの要請の都度、故障修理及び点検・清掃・調整等の作業を行います。													
	④	密閉式膨張タンク封入圧調整作業														
	⑤	排水処理設備定期点検	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

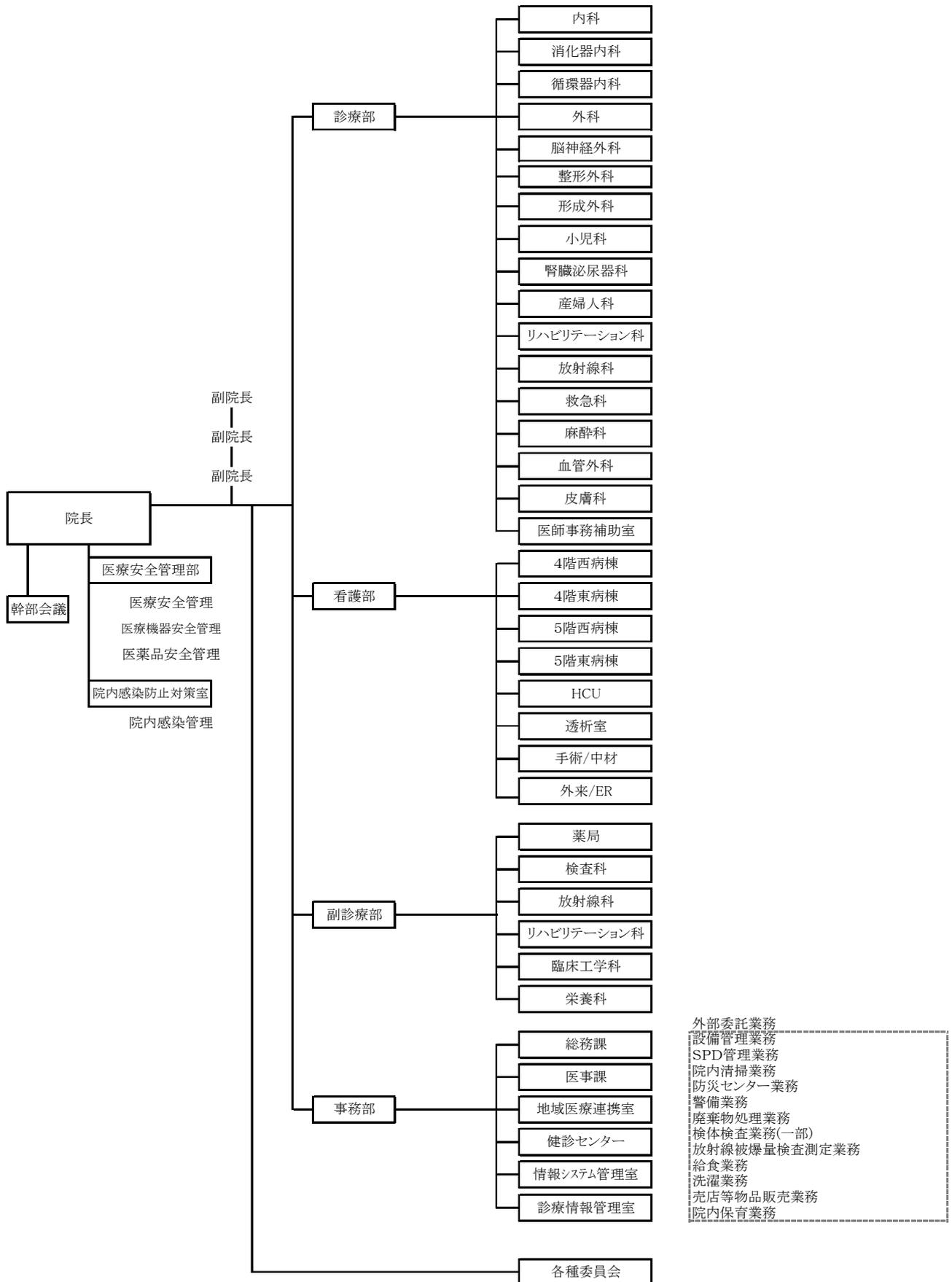
### ○ 空調設備

区分	業務内容		実施予定月													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
保守点検	①	一般フィルター清掃														●
	②	空調設備機器年間点検	日常の保守端末での運転状況の把握及び目視等による管理及び当院からの要請の都度、故障修理及び点検・清掃・調整等の作業を行います。													
	③	特殊フィルター交換														
	④	ガスコージェネレーションメンテナンス								●						

### 3. 組織図

平成31年4月1日

生駒市立病院 指定管理者 医療法人 徳洲会



#### 4. 収支計画

(単位:千円)

	平成31年9月末	平成32年3月末
1日平均入院患者数	154.2	158.7
1人1日当り診療額(入院)(円)	52,340	53,194
1日平均外来患者数	223.0	228.3
1人1日当り診療額(外来)(円)	13,261	13,297
入院収入計	1,476,520	3,090,580
外来収入計	541,182	1,111,131
診療収入合計	2,017,702	4,201,711
室料差額収入	34,800	69,600
文書料収入	7,200	14,400
その他収入	0	0
保険等調整増減	-28,200	-56,400
医業収入合計	2,031,502	4,229,311
医薬品費	303,201	629,424
医療消耗品費	225,171	467,439
給食材料費	17,825	37,006
その他	85,545	177,580
医業原価計	631,742	1,311,449
医療機器リース料	0	0
医療機器レンタル料	10,800	21,600
医療機器減価償却費	65,142	140,068
リース資産減価償却費	696	1,396
医師給与	169,800	339,600
その他	877,750	1,776,741
人件費計	1,047,550	2,116,341
水道光熱費	35,700	74,300
保守衛生費	1,920	3,840
その他	161,406	344,122
経費計	199,026	422,262
医業費用合計	1,954,956	4,013,116
医業利益	76,546	216,195
土地・建物用賃借料	132,601	265,202
減価償却引当金	15,456	30,913
その他費用計	148,057	296,115
受取利息	0	0
その他収益	21,000	42,000
医業外収益合計	21,000	42,000
支払利息	0	0
その他費用	5,100	10,200
医業外費用合計	5,100	10,200
経常利益	-55,611	-48,120

平成 3 1 年度生駒市立病院事業計画書  
説明資料

平成 3 1 年 3 月

## 目 次

診療科目	1
病床数	2
人員体制	3
患者数	4
質の高い医療の提供	5
地域完結型の医療体制構築への寄与	8
救急医療の充実	10
小児医療の充実	12
災害時医療の確保	12
予防医療の啓発	12
市民参加による運営	13
環境に配慮した運営	13
収支計画	14

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>診療科目</p> <p>14 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科</p> <p>上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとしません。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く)</li> <li>診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く)</li> <li>受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く)</li> </ul> <p>・既存の診療科について、常勤医師の確保により医療内容の充実を図りました。 (外科、形成外科、小児科、血管外科、健診センター)</p> <p>・標榜診療科の追加標榜については、今年度より皮膚科を開設しました。</p>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く)</li> <li>診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00 (土曜日除く)</li> <li>受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00 (土曜日除く)</li> </ul> <p>既存の診療科について、常勤医師(内科)の確保やより高次、専門性の高い医療機関との連携体制(小児科、脳神経外科等における近畿大学医学部奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制)の構築を図りました。</p> <p>また、診療科の追加標榜又は専門外来の開設については、市内小児科診療所や受診患者からの要望を勘案して、下半期に小児科のアレルギー外来を開設する予定です。</p> <p>レーザー外来において、平成 30 年 7 月から「赤あざ」の治療ができるようになりました。</p> <p>平成 30 年 8 月からフットケアリハビリが始まりました。</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療科目数は病院事業計画を上回っているが、各診療科における常勤医師の増員等、既存診療科の医療内容を充実させる必要がある。</li> <li>専門外来の開設により多種・多様な患者ニーズに対応しているが、今後も引き続き疾病の早期発見・早期治療を目指すため、専門外来の開設を検討していく必要がある。</li> <li>患者の医療ニーズに対応するため、院内の診療科間の連携や、より高次、専門性の高い医療機関との連携を進める必要がある。</li> </ul> <p>●平成 30 年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>脳神経外科、整形外科及び小児科については、非常勤医師が外来診療を担当している曜日がある。</li> <li>患者の安心感や満足度を向上させるために、常勤医師を増員し、常勤医師が外来診療をする体制を整える必要がある。</li> </ul> <p>◎解決した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年 12 月から、小児科において、アレルギー外来が開設されました。</li> <li>脳神経外科・小児科等においては、奈良県総合医療センターや近畿大学医学部奈良病院との連携体制がとれています。</li> <li>糖尿病患者は主に内科で治療していますが、糖尿病からくる合併症患者については、循環器内科、血管外科、腎臓泌尿器科、形成外科(フットケア外来)と連携して治療しているなど院内の連携体制がとれています。</li> <li>新生児の先天異常等における小児科と形成外科等他科への円滑な連携体制が整っています。</li> </ul>	<p>16 診療科</p> <p>内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科</p> <p>診察日・診察時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診察日 月曜日～土曜日(祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く)</li> <li>診察時間 午前診察 9:00～12:00 夕方診察 17:00～19:00(土曜日除く)</li> <li>受付時間 午前診察 8:00～12:00 夕方診察 16:30～19:00(土曜日除く)</li> </ul> <p>・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師の確保を図ります。</p> <p>・患者の医療ニーズに対応するため、引き続き、専門外来の充実、院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
病床数	病床数 210 床	(平成 30 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 203 床	(平成 30 年 9 月 30 日) 実稼働可能病床数 210 床	○平成 29 年度実施状況調査 ・次年度から許可病床 210 床がフルオープンすることから、今後は病床機能の効率的運営を図るため、病床利用率の向上を目指す必要がある。 ・小児科の救急医療や入院医療を充実させるためには、小児科の常勤医師を増員し、体制整備を図る必要がある。	(平成 32 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 4 床 産婦人科 23 床 内科系 73 床 外科系 103 床  病棟編成 4 病棟、10 対 1 看護基準 許可病床 210 床のうち稼働病床は 203 床でした。次年度フルオープン予定です。	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 7 床  病棟編成 5 病棟、10 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU) 5/1  平成 30 年 4 月 1 日から許可病床 210 床をフルオープンしました。  がん登録件数 (平成 30 年 4 月～9 月) 103 件  1 日平均病床利用率 (H30 年 9 月 62%)  平成 30 年 5 月 1 日から HCU 7 床を稼働し、平成 30 年 9 月末までの病床利用率は、85%となっています。	●平成 30 年度中間報告 ・病床利用率を向上させるため、各診療科の常勤医師を増員し、地域医療機関との連携を密にし、逆紹介患者及び紹介患者を増やす必要がある。  【参考値】 1 日平均病床利用率 (H31 年 1 月 71.9%)	小児科 5 床 産婦人科 20 床 内科系 87 床 外科系 90 床 HCU 8 床  病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU) 看護体制のさらなる充実を目指し、10:1 から 7:1 に看護基準のアップを図ります。  ・入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携の強化に取り組む、既存病床の利用率の向上を目指します。 ・重症の救急患者や術後患者等に対応するため、HCUを増床します。 ・小児科の常勤医師の増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を整備します。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業報告 (平成 30 年 3 月 31 日)		平成 30 年度 中間報告 (平成 30 年 9 月 30 日現在)		課題等		平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書 (平成 32 年 3 月 31 日)																																																																																																																																																																																																																																													
人員体制	<p>人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数（外来 300 名、入院 140 名と仮定）による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>25名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td rowspan="3">3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>40名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>198名</td></tr> </tbody> </table>	職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士	放射線技師	6名	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員等	40名	合計	198名	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤換算数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>5名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1.3名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>2.3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>0.3名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2.4名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>1.4名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2.3名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>1.5名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>1.5名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>24名</td></tr> <tr><td>外来部門</td><td>43名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>77名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>5名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>9.2名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>120名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>8.7名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>6名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>15名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>事務職員他</td><td>44.5名</td></tr> <tr><td>計</td><td>95.2名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>239.2名</td></tr> </tbody> </table>		常勤換算数	内科	5名	消化器内科	1.3名	循環器内科	2名	外科	2.3名	脳神経外科	0.3名	整形外科	1名	形成外科	2.4名	小児科	1.4名	腎臓泌尿器科	2.3名	産婦人科	1.5名	リハビリテーション科	0名	放射線科	1名	救急科	0名	麻酔科	1.5名	血管外科	1名	皮膚科	1名	計	24名	外来部門	43名	入院部門	77名	内) 准看護師	5名	内) 助産師	9.2名	内) 保健師	0名	計	120名	薬剤師	8.7名	理学療法士	6名	作業療法士	1名	言語聴覚士	1名	放射線技師	7名	検査技師	6名	栄養士	3名	看護助手	15名	臨床工学技士	3名	事務職員他	44.5名	計	95.2名	合計	239.2名	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤換算数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3.8名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1.2名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>2.1名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>0.2名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1.1名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>1.1名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2.2名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>1.8名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0.0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1.0名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1.9名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>1.3名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>(2.0名)</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1.0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>23.7名</td></tr> <tr><td>外来部門</td><td>38.8名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>86.2名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>5.0名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>13.3名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0.0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>125.0名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>10.8名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>9.0名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1.0名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8.0名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7.0名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2.0名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19.0名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>3.0名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>47.1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>108.9名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>257.6名</td></tr> </tbody> </table>		常勤換算数	内科	3.8名	消化器内科	1.2名	循環器内科	2.0名	外科	2.1名	脳神経外科	0.2名	整形外科	1.1名	形成外科	2.0名	小児科	1.1名	腎臓泌尿器科	2.2名	産婦人科	1.8名	リハビリテーション科	0.0名	放射線科	1.0名	救急科	1.9名	麻酔科	1.3名	血管外科	(2.0名)	皮膚科	1.0名	計	23.7名	外来部門	38.8名	入院部門	86.2名	内) 准看護師	5.0名	内) 助産師	13.3名	内) 保健師	0.0名	計	125.0名	薬剤師	10.8名	理学療法士	9.0名	作業療法士	1.0名	言語聴覚士	2.0名	放射線技師	8.0名	検査技師	7.0名	栄養士	2.0名	看護助手	19.0名	臨床工学技士	3.0名	事務職員等	47.1名	計	108.9名	合計	257.6名	<p>○平成 29 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病院事業計画のコンセプトに掲げられている救急医療の充実、小児医療の充実のためには、引き続き脳神経外科・救急科の常勤医師の確保、小児科の常勤医師の増員が必要である。</li> <li>●平成 30 年度中間報告</li> <li>二次救急医療を充実させるため、脳神経外科、救急科の常勤医師を確保する必要がある。</li> <li>周産期医療を充実させるため、産婦人科の常勤医師を増員する必要がある。</li> <li>小児救急医療を充実させるため、小児科の常勤医師を増員する必要がある。</li> </ul> <p>【参考値】 H31 年 1 月現在（常勤換算数） 医師 25.7 名 看護師 122.1 名 その他 110.1 名 合計 257.9 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年 10 月から形成外科 1 名採用</li> <li>平成 30 年 12 月末で消化器内科医師退職</li> <li>平成 31 年 4 月から救急対応可能な外科医師 1 名採用予定</li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>28名</td></tr> <tr><td>外来部門</td><td>41名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>107名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>5名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>148名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>13名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>12名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>10名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>15名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>5名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>47名</td></tr> <tr><td>計</td><td>119名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>295名</td></tr> </tbody> </table>		常勤	内科	3名	消化器内科	2名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	2名	形成外科	2名	小児科	2名	腎臓泌尿器科	2名	産婦人科	2名	リハビリテーション科	1名	放射線科	1名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	1名	皮膚科	1名	計	28名	外来部門	41名	入院部門	107名	内) 准看護師	5名	内) 助産師	14名	内) 保健師	0名	計	148名	薬剤師	13名	理学療法士	12名	作業療法士	3名	言語聴覚士	3名	放射線技師	8名	検査技師	10名	栄養士	3名	看護助手	15名	臨床工学技士	5名	事務職員等	47名	計	119名	合計	295名
	職種	人数																																																																																																																																																																																																																																																			
	医師	25名																																																																																																																																																																																																																																																			
	看護師	80名																																																																																																																																																																																																																																																			
	薬剤師	6名																																																																																																																																																																																																																																																			
	理学療法士	3名																																																																																																																																																																																																																																																			
	作業療法士																																																																																																																																																																																																																																																				
	言語聴覚士																																																																																																																																																																																																																																																				
	放射線技師	6名																																																																																																																																																																																																																																																			
	検査技師	7名																																																																																																																																																																																																																																																			
栄養士	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
看護助手	29名																																																																																																																																																																																																																																																				
事務職員等	40名																																																																																																																																																																																																																																																				
合計	198名																																																																																																																																																																																																																																																				
	常勤換算数																																																																																																																																																																																																																																																				
内科	5名																																																																																																																																																																																																																																																				
消化器内科	1.3名																																																																																																																																																																																																																																																				
循環器内科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
外科	2.3名																																																																																																																																																																																																																																																				
脳神経外科	0.3名																																																																																																																																																																																																																																																				
整形外科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
形成外科	2.4名																																																																																																																																																																																																																																																				
小児科	1.4名																																																																																																																																																																																																																																																				
腎臓泌尿器科	2.3名																																																																																																																																																																																																																																																				
産婦人科	1.5名																																																																																																																																																																																																																																																				
リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																																																																																																																				
放射線科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
救急科	0名																																																																																																																																																																																																																																																				
麻酔科	1.5名																																																																																																																																																																																																																																																				
血管外科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
皮膚科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	24名																																																																																																																																																																																																																																																				
外来部門	43名																																																																																																																																																																																																																																																				
入院部門	77名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 准看護師	5名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 助産師	9.2名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 保健師	0名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	120名																																																																																																																																																																																																																																																				
薬剤師	8.7名																																																																																																																																																																																																																																																				
理学療法士	6名																																																																																																																																																																																																																																																				
作業療法士	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
言語聴覚士	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
放射線技師	7名																																																																																																																																																																																																																																																				
検査技師	6名																																																																																																																																																																																																																																																				
栄養士	3名																																																																																																																																																																																																																																																				
看護助手	15名																																																																																																																																																																																																																																																				
臨床工学技士	3名																																																																																																																																																																																																																																																				
事務職員他	44.5名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	95.2名																																																																																																																																																																																																																																																				
合計	239.2名																																																																																																																																																																																																																																																				
	常勤換算数																																																																																																																																																																																																																																																				
内科	3.8名																																																																																																																																																																																																																																																				
消化器内科	1.2名																																																																																																																																																																																																																																																				
循環器内科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
外科	2.1名																																																																																																																																																																																																																																																				
脳神経外科	0.2名																																																																																																																																																																																																																																																				
整形外科	1.1名																																																																																																																																																																																																																																																				
形成外科	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
小児科	1.1名																																																																																																																																																																																																																																																				
腎臓泌尿器科	2.2名																																																																																																																																																																																																																																																				
産婦人科	1.8名																																																																																																																																																																																																																																																				
リハビリテーション科	0.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
放射線科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
救急科	1.9名																																																																																																																																																																																																																																																				
麻酔科	1.3名																																																																																																																																																																																																																																																				
血管外科	(2.0名)																																																																																																																																																																																																																																																				
皮膚科	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	23.7名																																																																																																																																																																																																																																																				
外来部門	38.8名																																																																																																																																																																																																																																																				
入院部門	86.2名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 准看護師	5.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 助産師	13.3名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 保健師	0.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	125.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
薬剤師	10.8名																																																																																																																																																																																																																																																				
理学療法士	9.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
作業療法士	1.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
言語聴覚士	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
放射線技師	8.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
検査技師	7.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
栄養士	2.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
看護助手	19.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
臨床工学技士	3.0名																																																																																																																																																																																																																																																				
事務職員等	47.1名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	108.9名																																																																																																																																																																																																																																																				
合計	257.6名																																																																																																																																																																																																																																																				
	常勤																																																																																																																																																																																																																																																				
内科	3名																																																																																																																																																																																																																																																				
消化器内科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
循環器内科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
外科	3名																																																																																																																																																																																																																																																				
脳神経外科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
整形外科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
形成外科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
小児科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
腎臓泌尿器科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
産婦人科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
リハビリテーション科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
放射線科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
救急科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
麻酔科	2名																																																																																																																																																																																																																																																				
血管外科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
皮膚科	1名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	28名																																																																																																																																																																																																																																																				
外来部門	41名																																																																																																																																																																																																																																																				
入院部門	107名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 准看護師	5名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 助産師	14名																																																																																																																																																																																																																																																				
内) 保健師	0名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	148名																																																																																																																																																																																																																																																				
薬剤師	13名																																																																																																																																																																																																																																																				
理学療法士	12名																																																																																																																																																																																																																																																				
作業療法士	3名																																																																																																																																																																																																																																																				
言語聴覚士	3名																																																																																																																																																																																																																																																				
放射線技師	8名																																																																																																																																																																																																																																																				
検査技師	10名																																																																																																																																																																																																																																																				
栄養士	3名																																																																																																																																																																																																																																																				
看護助手	15名																																																																																																																																																																																																																																																				
臨床工学技士	5名																																																																																																																																																																																																																																																				
事務職員等	47名																																																																																																																																																																																																																																																				
計	119名																																																																																																																																																																																																																																																				
合計	295名																																																																																																																																																																																																																																																				
	<p>○医療従事者の確保について (医師の確保) 常勤医師に関しては、内科 1 名、消化器内科 1 名、外科 3 名、形成外科 1 名、小児科 1 名、血管外科 1 名、皮膚科 1 名が入職しましたが、尚不足している脳神経外科、産婦人科、小児科、整形外科等の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、勤務希望者の募集、大学等関係機関への継続した働きかけを行い、常勤医師を確保しました。 また、医師の業務負担の軽減を図るなど勤務環境の改善を行いました。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) 学生実習の積極的な受け入れ、(8 校 768 名)、院内保育所の運営、多様な勤務形態の導入等を行いました。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。</p>	<p>○医療従事者の確保について (常勤医師の確保) 常勤医師が不足している脳神経外科、産婦人科、小児科、整形外科等の診療科を中心に、グループ他病院からの人事異動の要請、病院ホームページ等による勤務希望者の募集等、大学等関係機関への継続した働きかけを行い、常勤医師を確保しました。 また、医師の業務負担の軽減を図るなど勤務環境の改善を行いました。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) 学生実習の受入 院内保育所の運営 時短勤務の導入等 研修制度の充実 新人看護職員研修 4/21 11 名参加、5/12 11 名参加 資格取得のための支援 看護補助者活用のための看護管理者研修、退院支援看護師養成研修、認知症対応力向上研修など</p> <p>リハビリテーション科については、理学療法士 3 名を 4 月に、言語聴覚士 1 名を 5 月に採用し、土曜日、祝日が稼働可能となりました。</p>	<p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、救急科、小児科、産婦人科の診療科を中心に、常勤医師の確保、増員を図ります。 医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、引き続き勤務環境の改善を行います。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) 引き続き学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。 リハビリテーション科については、入院患者の廃用症候群の防止、機能回復の促進により、早期の社会復帰を目指し、理学療法士の増員を図ります。また、作業療法士、言語聴覚士についても引き続き確保に取り組みます。</p>																																																																																																																																																																																																																																																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書																																																																																																															
患者数	1 日平均患者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>102.9 人</td><td>124.0 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>114.1 人</td><td>146.7 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>125.3 人</td><td>168.7 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>123.5 人</td><td>158.8 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>100.6 人</td><td>177.9 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>109.7 人</td><td>176.4 人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>115.3 人</td><td>176.7 人</td></tr> <tr><td>11月</td><td>124.5 人</td><td>196.5 人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>121.7 人</td><td>198.0 人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>132.3 人</td><td>189.2 人</td></tr> <tr><td>2月</td><td>141.5 人</td><td>194.5 人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>133.1 人</td><td>192.2 人</td></tr> <tr><td>年間平均</td><td>120.3 人</td><td>174.9 人</td></tr> <tr><td>達成率</td><td>104.0 %</td><td>112.8 %</td></tr> </tbody> </table>		入院	外来	4月	102.9 人	124.0 人	5月	114.1 人	146.7 人	6月	125.3 人	168.7 人	7月	123.5 人	158.8 人	8月	100.6 人	177.9 人	9月	109.7 人	176.4 人	10月	115.3 人	176.7 人	11月	124.5 人	196.5 人	12月	121.7 人	198.0 人	1月	132.3 人	189.2 人	2月	141.5 人	194.5 人	3月	133.1 人	192.2 人	年間平均	120.3 人	174.9 人	達成率	104.0 %	112.8 %	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>116.9人</td><td>182.3人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>108.5人</td><td>196.1人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>124.5人</td><td>212.1人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>120.6人</td><td>203.4人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>118.9人</td><td>218.8人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>130.0人</td><td>193.6人</td></tr> <tr><td>上半期平均</td><td>119.9人</td><td>201.1人</td></tr> </tbody> </table>		入院	外来	4月	116.9人	182.3人	5月	108.5人	196.1人	6月	124.5人	212.1人	7月	120.6人	203.4人	8月	118.9人	218.8人	9月	130.0人	193.6人	上半期平均	119.9人	201.1人	<p>○平成 29 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者数、外来患者数ともに増加しているが、二次医療機関として入院患者数を増やすためには、各診療科の常勤医師を増員して治療が可能な症例を増やすほか、地域の医療機関との病病・病診連携を進めることや、救急患者を確実に受け入れることが必要である。</li> </ul> <p>●平成 30 年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来患者数は、計画どおり順調に伸びている一方、入院患者数が計画と比べると伸び悩んでおり、入院につながる救急患者、紹介患者数が伸び悩んでいる可能性がある。</li> <li>脳神経外科の常勤医師を確保し、救急受入できる症例を増やす必要があり、また、地域の医療機関との病病・病診連携を進める必要がある。</li> </ul> <p>【参考値】 H31 年 1 月現在 1 日平均患者数 入院 150.9 名 外来 221.1 名</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>150.0 人</td><td>220.5 人</td></tr> <tr><td>5月</td><td>150.0 人</td><td>220.5 人</td></tr> <tr><td>6月</td><td>155.0 人</td><td>221.0 人</td></tr> <tr><td>7月</td><td>155.0 人</td><td>222.0 人</td></tr> <tr><td>8月</td><td>155.0 人</td><td>227.0 人</td></tr> <tr><td>9月</td><td>160.0 人</td><td>227.0 人</td></tr> <tr><td>10月</td><td>160.0 人</td><td>227.0 人</td></tr> <tr><td>11月</td><td>160.0 人</td><td>232.0 人</td></tr> <tr><td>12月</td><td>165.0 人</td><td>232.0 人</td></tr> <tr><td>1月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>2月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>3月</td><td>165.0 人</td><td>237.0 人</td></tr> <tr><td>年間平均</td><td>158.7 人</td><td>228.3 人</td></tr> </tbody> </table>		入院	外来	4月	150.0 人	220.5 人	5月	150.0 人	220.5 人	6月	155.0 人	221.0 人	7月	155.0 人	222.0 人	8月	155.0 人	227.0 人	9月	160.0 人	227.0 人	10月	160.0 人	227.0 人	11月	160.0 人	232.0 人	12月	165.0 人	232.0 人	1月	165.0 人	237.0 人	2月	165.0 人	237.0 人	3月	165.0 人	237.0 人	年間平均	158.7 人	228.3 人
		入院	外来																																																																																																																	
4月	102.9 人	124.0 人																																																																																																																		
5月	114.1 人	146.7 人																																																																																																																		
6月	125.3 人	168.7 人																																																																																																																		
7月	123.5 人	158.8 人																																																																																																																		
8月	100.6 人	177.9 人																																																																																																																		
9月	109.7 人	176.4 人																																																																																																																		
10月	115.3 人	176.7 人																																																																																																																		
11月	124.5 人	196.5 人																																																																																																																		
12月	121.7 人	198.0 人																																																																																																																		
1月	132.3 人	189.2 人																																																																																																																		
2月	141.5 人	194.5 人																																																																																																																		
3月	133.1 人	192.2 人																																																																																																																		
年間平均	120.3 人	174.9 人																																																																																																																		
達成率	104.0 %	112.8 %																																																																																																																		
	入院	外来																																																																																																																		
4月	116.9人	182.3人																																																																																																																		
5月	108.5人	196.1人																																																																																																																		
6月	124.5人	212.1人																																																																																																																		
7月	120.6人	203.4人																																																																																																																		
8月	118.9人	218.8人																																																																																																																		
9月	130.0人	193.6人																																																																																																																		
上半期平均	119.9人	201.1人																																																																																																																		
	入院	外来																																																																																																																		
4月	150.0 人	220.5 人																																																																																																																		
5月	150.0 人	220.5 人																																																																																																																		
6月	155.0 人	221.0 人																																																																																																																		
7月	155.0 人	222.0 人																																																																																																																		
8月	155.0 人	227.0 人																																																																																																																		
9月	160.0 人	227.0 人																																																																																																																		
10月	160.0 人	227.0 人																																																																																																																		
11月	160.0 人	232.0 人																																																																																																																		
12月	165.0 人	232.0 人																																																																																																																		
1月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																		
2月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																		
3月	165.0 人	237.0 人																																																																																																																		
年間平均	158.7 人	228.3 人																																																																																																																		
	<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供し、入院・外来患者数の増加を目指しました。</p> <p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等による広報活動の充実</li> <li>Facebook による情報発信を開始</li> <li>1 階売店前から 1 階中央待合に情報発信モニターを移設</li> <li>医療講演会の内容の充実 54 講座 2,253 名参加 (自治会等各種団体への出張講座 3 回 225 名を含む)</li> <li>患者への相談窓口(来院・電話)の充実 電話交換手 1 名を配置しました。</li> </ul> <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関への情報提供等訪問回数 (146 件)</li> <li>病診連携懇話会において症例検討等を実施していましたが、幅広く参加者を募ることができるよう、内容等の見直しに時間を要したため、次年度に繰越しました。</li> </ul>	<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>常勤医師の確保、地域医療機関との連携推進のほか、市民や地域の医療機関へ、市立病院の医療に関する必要な情報をそれぞれ積極的に提供し、入院・外来患者数の増加を図り、入院患者数は伸び悩んだものの、外来患者数は計画どおり順調に伸びました。</p> <p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ等による広報活動の充実</li> <li>Facebook による情報発信</li> <li>近鉄電車内への車内広告掲載</li> <li>病院だよりの発行(平成 30 年 6 月、9 月)</li> <li>病院パンフレットのリニューアル</li> <li>ダヴィンチ、レーザー治療のパンフレット作成</li> <li>病院内見学ツアーの実施</li> </ul> <p>・医療講演会 23 講座 参加者 1,008 名 出張講演会の募集を開始していません。</p> <p>・患者への案内窓口(来院・電話)対応職員を 5 月から 2 名に増員</p> <p>・電話受付の専属職員を配置</p> <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関への情報提供等訪問回数 106 件</li> <li>病診連携懇話会は来年度に開催予定</li> </ul>	<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>特に入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、市立病院の医療に関する必要な情報を積極的に提供することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。</p> <p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ、SNS (ツイッター、Face book)、病院だより、鉄道の車内広告等による広報活動の推進</li> <li>医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む)の推進</li> </ul> <p>(地域の医療機関への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関への情報提供の推進</li> <li>病診連携懇話会の開催</li> </ul>																																																																																																																	

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時より多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。 腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みましたが、患者の状況に応じて他の手術方法に切り替えたため、低侵襲手術件数は減少しました。 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供に取り組みました。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数 1,165 件</p> <p>・分娩件数 99 件</p> <p>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行いました。 7/8 21 家族 67 名参加</p> <p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行いました。 (導入機器) ・輸液ポンプ・シリンジポンプの増設 ・形成外科レーザー機器 ・人工透析装置の増設 2 台 ・解析付心電計 ・手術台 1 台 ・HCU 心電図モニター一式 ・冷暖蔵配膳車 2 台</p>	<p>患者中心の市民満足度の高い、質の高い医療を目指し、最新の設備を配置し、患者にとってベストな治療・ケアを行いました。 腹腔鏡下手術・胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 患者の意見に基づき、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、改善を行いました。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数 (全体) 753 件 (循環器内科を除いた場合は、645 件)</p> <p>・分娩件数 77 件</p> <p>・産科交流会 5/26 26 組 51 名の家族が参加 12 月も予定</p> <p>・多職種連携会議 隔月 1 回開催</p> <p>・医療機器等の整備 (導入機器) ・形成外科レーザー機器 ・手術室の稼動に伴い、手術台、麻酔器、モニターを導入</p> <p>※乳房 X 線撮影装置は、今年度中に導入予定</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査 ・今後、ますます増加する高齢者の医療需要に対応するため、カテーテル検査・治療、腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等、患者の身体への負担が少ない低侵襲の検査・治療の提供体制の充実を図る必要がある。</p> <p>○解決した課題 ・肺がんの胸腔鏡下手術など手術範囲の拡大、手術可能な症例が増え、低侵襲な手術が増加しました。 (腹腔鏡下手術 (胸腔鏡下手術含む) H30 中間 : 54 件、 H29 中間 : 15 件)</p> <p>【参考値】 H30 年 4 月から H31 年 1 月 手術件数 1,089 件 分娩件数 135 件</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。 <u>引き続き、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組み、また、ダ・ヴィンチ手術については、対応できる症例の拡大を目指します。</u> 患者の意見から、医療やサービス等が適切であるかどうかを検討し、患者の意見を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて ・手術件数 (全体) 1,392 件 外科 312 件 整形外科 240 件 形成外科 660 件 腎臓泌尿器科 60 件 産婦人科 120 件</p> <p>・分娩件数 168 件</p> <p>・産科交流会 ※母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・医療機器等の整備 必要性・採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。 (導入予定機器) ・乳房 X 線撮影装置 (マンモグラフィー) ・高気圧酸素治療装置 ・高圧蒸気滅菌器の増設</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
	<p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院・外来患者アンケート (H29.5) <ul style="list-style-type: none"> <li>患者満足度 総合評価の評点</li> <li>入院 80.6 点 (有効件数 102 件)</li> <li>外来 79.3 点 (有効件数 407 件)</li> </ul> </li> <li>ご意見箱の内容に対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>ご意見箱の意見及びそれに対する改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに情報発信モニターに掲載しました。また生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</li> </ul> </li> <li>院内スタッフ対象の接遇研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>4 月新入職員 オリエンテーションにて研修</li> </ul> </li> </ul>	<p>主要疾病 (4 疾病) に係る医療体制</p> <p>がん</p> <p>地域がん診療連携拠点病院 (近畿大学医学部奈良病院) と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保している。</p> <p>近畿大学医学部奈良病院 15 件</p> <p>脳卒中</p> <p>近畿大学医学部奈良病院、市立奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断できる体制を確保している。</p> <p>近畿大学医学部奈良病院 15 件 市立奈良病院 1 件 奈良県総合医療センター 9 件</p> <p>急性心筋梗塞</p> <p>緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制を確保している。</p> <p>緊急入院 6 件</p> <p>糖尿病</p> <p>かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施している。</p> <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>退院時に患者アンケート調査を実施しました。(回答総数 634 件)</li> </ul> <p>・ご意見箱の内容に対応</p> <p>ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施</p> <p>下半期実施予定</p> <p>・待ち時間解消策の実施(自動精算機の利用促進)</p> <p>患者への案内窓口 (来院・電話) 対応職員を 5 月から 2 名に増員</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんに対する外科手術の可能な症例が増えているが、がん治療に関しては地域がん診療連携拠点病院 (近畿大学医学部奈良病院) との連携のもと、精密検査や確定診断等、標準的ながん診療機能を充実するとともに、病理診断、手術療法、化学療法、放射線療法の集学的治療体制の整備を図る必要がある。</li> <li>アンケート調査やご意見箱の意見に対応することにより患者満足度の向上につなげていく仕組みはできているが、ご意見に対応できたもののほか、対応できないご意見についてなぜ対応できないのかをご理解いただけるよう、ホームページに「よくある質問」のページを設けて周知するなど、市民や患者が市立病院に対する理解や認識を深めるための取組を実施していく必要がある。</li> </ul> <p>●平成 30 年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん治療に関して、今後は、市立病院で放射線治療器を導入し、集学的治療体制の整備を目指す。</li> <li>急性心筋梗塞について、内科的治療 (P C I) は行えているが、外科的治療について、近畿大学医学部奈良病院の心臓血管外科と連携していく必要がある。</li> </ul> <p>◎解決した課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 30 年 10 月から、ホームページに、ご意見箱の改善事例について、掲載しました。</li> </ul>	<p>主要疾病 (4 疾病) に係る医療体制</p> <p>がん</p> <p>地域がん診療連携拠点病院 (近畿大学医学部奈良病院) と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実</p> <p>脳卒中</p> <p>近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターとの連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実</p> <p>急性心筋梗塞</p> <p>近畿大学医学部奈良病院、奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・P C I が 24 時間 365 日可能な体制の充実</p> <p>糖尿病</p> <p>かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実</p> <p>○患者満足度の向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院・外来患者アンケート調査の実施</li> <li>ご意見箱の内容に対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、ホームページ・情報モニター・病院だよりで公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</li> </ul> </li> <li>院内スタッフ対象の接遇研修の実施</li> </ul>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について 各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について 発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM(メディカルリスクマネジメント)委員会にて分析したうえで、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について 感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的で開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>(医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、次年度に発行予定の病院年報等に、インシデント・アクシデント件数を公表する方向で検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理委員会(毎月1回開催)</li> <li>・医療安全カンファレンス(毎週1回開催)</li> <li>・医療安全勉強会(6/12・6/19 85名参加、2/8・2/13 117名参加)</li> </ul> <p>(院内感染対策について) 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会(毎月1回開催)</li> <li>・ICT合同カンファレンス(偶数月参加)</li> <li>・ICTラウンド(毎週1回開催)</li> <li>・感染勉強会(8/15・8/25(141名参加)、3/16・3/20(229名参加))</li> </ul>	<p>○医療における安全管理について (医療安全管理体制について) 市民の生命と健康を守る観点から、医療安全管理規程に基づき、医療安全管理委員会や院内感染対策委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有など、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等についても、下半期に発行予定の病院年報にインシデント・アクシデント件数を包括的に公表する方向で検討しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理委員会(毎月1回開催)</li> <li>・医療安全カンファレンス(毎週1回開催)</li> <li>・医療安全勉強会(10月 E-ラーニングによる個別講習を開催予定)</li> </ul> <p>(院内感染対策について) 継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会(毎月1回開催)</li> <li>・ICT合同カンファレンス(偶数月参加)</li> <li>・ICTラウンド(毎週1回開催)</li> <li>・感染勉強会(9/26 138名参加、9/28 58名参加)</li> </ul> <p>(院内感染対策に係る地域医療連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合同カンファレンス 6/10 9/3 開催</li> </ul>	<p>○平成 29 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故等が発生した場合の医療安全管理は適正になされている。また、市民への包括的公表についても検討されているが、市立病院として病院運営の透明性を高め、市民の信頼を確保するため、患者のプライバシー等を考慮しながら市との情報共有・連携体制や市民への個別公表のルールを確立する必要がある。</li> </ul>	<p>(医療安全管理体制について) 市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する市民への情報公開の方法等については、今年度発行予定の病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全管理委員会(毎月1回開催)</li> <li>・医療安全カンファレンス(毎週1回開催)</li> <li>・医療安全勉強会(年2回開催)</li> </ul> <p>(医療事故に対する対応について) 医療事故発生時は、引き続き次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の安全確保と救命処置を最優先します。</li> <li>・病院内における事故等の報告を速やかに行います。</li> <li>・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。</li> <li>・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。</li> <li>・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。</li> </ul> <p>(院内感染対策について) 院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内感染対策委員会(毎月1回開催)</li> <li>・ICT合同カンファレンス(偶数月参加)</li> <li>・ICTラウンド(毎週1回開催)</li> <li>・感染勉強会(年2回開催)</li> <li>・院内感染対策に係る地域医療連携(合同カンファレンス 年2回参加)</li> </ul>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪事に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的実施 (2 年に 1 回程度) ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度)</p> <p>※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献しました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の受け入れを行いました。 地域連携パスは実施していませんが、退院支援チームによって在宅への移行支援を行っています。 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会に院長が参加し、同協議会在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアルワーキンググループに当院地域連携室メディカルソーシャルワーカーが参加しました。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床は実施していません。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施しました。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、案内するなど PR や周知を強化しました。</p> <p>・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会専門 (A) コース 7/15 13 名参加 周産期救急講習 (ALSO) アドバンスコース 10/21・22 25 名参加 ・病診連携懇話会において症例検討等を実施していましたが、幅広く参加者を募ることができるよう、内容等の見直しに時間を要したため、次年度に繰越しました。(再掲) ・消防本部救急隊との意見交換会 4/19、8/8 実施 ・救急等に関する意見交換会 2/15 参加</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療・介護連携の充実に貢献しました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 医療連携登録医や協力医療機関連携施設等の増に組み、登録医や連携施設等の患者、利用者の増悪時の受け入れを行いました。(平成 30 年 9 月 30 日時点) ・医療連携登録医 65 施設・79 名 ・協力医療機関連携施設 45 施設</p> <p>・地域連携パスは未実施</p> <p>・退院支援チームは実施</p> <p>・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会の委員として院長が参加 ・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 在宅医療介護推進部会及び入退院調整マニュアル運用ワーキンググループの委員として地域医療連携室のメディカルソーシャルワーカーが参加</p> <p>○開放型病床は未設置</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会を実施しました。また、地域の医療従事者にも参加を求め、医療教育プログラムを実施しました。</p> <p>・医療教育プログラム NCPR(新生児蘇生法)講習会 12 月開催予定 ALSO 8/4~8/5 に開催 (36 名参加)</p> <p>・病診連携懇話会は来年度に開催予定</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査 ・退院支援チーム等により退院支援が行われており、在宅患者の増悪時の受入等も実施しているが、さらに在宅支援機能を充実させるためには地域の医療機関との連携を強化していく必要がある。 ・新生児蘇生法の講習会や病診連携懇話会での症例検討など地域医療機関への医療教育プログラムを実施しているが、参加者を増やすためには大人に対する蘇生法 (TCLS：徳洲会二次救命処置法) の救命講習会など、対象者が広範囲なプログラムの実施について検討する必要がある。</p> <p>●平成 30 年度中間報告 ・退院支援チーム等により入退院支援が行われており、医療連携登録医からの紹介患者の受け入れ、協力医療機関連携施設等からの急変時の搬送受け入れが行われているが、さらなる在宅支援機能の充実に向けて、地域の医療機関との連携を強化していく必要がある。 ・地域医療機関を対象にした医療教育プログラムや病診連携懇話会での症例検討会など、市内全体の地域医療の発展に寄与できるようなプログラム等の提供を行っていく必要がある。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、<u>医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化</u>し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域連携パスについては、県や地域の医療機関、医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○開放型病床の設置について 開放型病床については、地域の医療機関や医師会と協議の上、必要に応じて実施を検討します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会、交流会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進するために、<u>TCLS (徳洲会二次救命処置法) などの対象者が広範囲で、地域医療の発展に寄与できるようなプログラムの充実に貢献</u>するとともに、医療連携登録医をはじめ、地域の病院、診療所へ往訪し、PR や周知を強化します。</p> <p>・医療教育プログラム ・病診連携懇話会</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>●<b>周辺の他の医療機関との連携</b>            新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。            また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。            また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●<b>地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備</b>            院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。            この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等の提供を行ないます。            また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○<b>周辺の他の医療機関との連携について</b>            医師会への入会を目指し、9月の新院長就任時に医師会長と面談したほか、毎月、市立病院の医療機能や実績に関する情報提供を重ねました。            また、医療機器のオープン利用件数の増を目指し、予約が放射線科で直接できるよう手続きを簡略化するとともに、可能な限り即日検査にも対応しました。</p> <p>・オープン利用件数（年間）  <b>MRI 260件(全利用件数 2,167件)</b>  <b>CT 62件(全利用件数 5,973件)</b>  <b>内視鏡 15件(全利用件数 1,461件)</b>  <b>エコー 16件(全利用件数 2,945件)</b></p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットをPRしました。            (平成30年3月31日)            ・医療連携登録医 58施設・71名            ・協力医療機関連携施設 43施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入に努めました。            また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介する手続きの簡略化、紹介を受けていない患者については、患者の住居の周辺の医療機関を検索して逆紹介できるシステムの構築について検討しました。</p> <p>・紹介率 33.0%            ・逆紹介率 12.9%</p> <p>○<b>地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について</b>            地域医療連携室の専任職員メディカルソーシャルワーカーを1名増員し、4名体制（看護師1名、MSW2名、事務1名）となりました。            専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。            地域共有型電子カルテネットワークシステムについては、「やまと西和ネット」へ参加する方向で検討しました。</p>	<p>○<b>周辺の他の医療機関との連携について</b>            医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能や実績に関する情報を提供しました。            地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き実施しました。</p> <p>・医療機器のオープン利用件数（4～9月）  <b>MRI 141件(全利用件数 1,153件)</b>  <b>CT 45件(全利用件数 3,174件)</b>  <b>内視鏡 12件(全利用件数 872件)</b>  <b>エコー 6件(全利用件数 1,837件)</b></p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の拡大を目指し、登録のメリットをPRしました。            (平成30年9月30日時点)            ・医療連携登録医 65施設・79名            ・協力医療機関連携施設 45施設</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制を重視し、紹介された患者の受入に努め、病状の安定した患者は、積極的に「地域のかかりつけ医」へ逆紹介を行いました。</p> <p>・紹介率 33.3%            ・逆紹介率 13.8%            ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 77.9%</p> <p>○<b>地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について</b>            10月から非常勤職員1名、来年4月から常勤職員1名増員予定。</p> <p>地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、やまと西和ネットへの参加の方向で取り組みました。            市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図りました。</p>	<p>○平成29年度実施状況調査            ・医師会に対して市立病院の医療機能等の情報提供はしているが、地域医療機関との病病・病診連携を推進するためには医師会との連携は不可欠であり、引き続き医師会への入会審査に対応していく必要がある。            ・疾病予防や健康管理、通常みられる病気等の治療についてはかかりつけ医、入院医療及び専門外来については病院、という役割分担と連携体制を推進するため、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指す必要がある。</p> <p>●<b>平成30年度中間報告</b>            ・地域医療機関との病病・病診連携を推進するためには医師会との連携は不可欠であり、引き続き医師会への入会審査に対応していく必要がある。            ・また、患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外にも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域に逆紹介していく必要がある。</p> <p>【参考値】            医療機器のオープン利用件数（H30年4月からH31年1月）  <b>MRI 208件(全利用件数 1,968件)</b>  <b>CT 78件(全利用件数 5,533件)</b>  <b>内視鏡 14件(全利用件数 1,589件)</b>  <b>エコー 14件(全利用件数 5,059件)</b></p> <p>(平成31年1月31日時点)            ・医療連携登録医 67施設・82名            ・協力医療機関連携施設 52施設            ・紹介率 28.8%            ・逆紹介率 11.5%            ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 82.6%</p>	<p>○<b>周辺の他の医療機関との連携について</b>  <u>医師会への医療機能等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。</u>また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器のオープン利用を引き続き推進します。            市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・オープン利用件数（年間）  <b>MRI 280件</b>  <b>CT 100件</b>  <b>内視鏡 20件</b>  <b>エコー 20件</b></p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的にPRします。            (平成32年3月31日時点)            ・医療連携登録医 80施設            ・協力医療機関連携施設 80施設</p> <p><u>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外にも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域に逆紹介します。</u></p> <p>・紹介率 45%            ・逆紹介率 20%</p> <p>○<b>地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について</b>            地域医療連携室の専任職員（看護師1名・メディカルソーシャルワーカー3名・事務職員1名）を配置し、紹介・逆紹介及び入院調整を推進します。            専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行ないます。            地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築については、やまと西和ネットへ参加します。            市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書																
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="118 703 578 934"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数(1月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td>市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td></td> <td>外科系 5回</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">小児科</td> <td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2回</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10回(※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>10回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00～24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回	外科系		外科系 5回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)	産婦人科(※2)	10回	<p>「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急受入件数 1,824 件 (市内 1,062 件、市外 762 件)</li> <li>救急応需率 88.9%</li> <li>消防本部救急隊との意見交換会(再掲) 4/19、8/8 実施</li> <li>救急等に関する意見交換会 2/15 参加(再掲)</li> <li>市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて常勤医師の当直体制を整えるとともに、輪番病院のバックアップに努めました。</li> <li>北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、引き続き北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師を 1 月に 1 名確保しました。</li> <li>北和産婦人科一次救急医療体制への将来的な参加に向けて、産婦人科常勤医師の確保に努めました。</li> </ul>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を継続するとともに、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に取り組みました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急受入件数 917 件 (市内 553 件、市外 364 件)</li> <li>救急応需率 93.8%</li> <li>下半期に市主催の市内等病院との意見交換会に参加予定</li> <li>市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、救急患者の市内受入率の向上を目指し、輪番病院のバックアップの役割を果たしました。</li> <li>北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に参加し、情報交換を行うとともに、小児科常勤医師の確保に努めています。</li> <li>北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な県からの参加要請に対応できるように、産婦人科の常勤医師のさらなる確保に努めています。</li> </ul>	<p>○平成 29 年度実施状況調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めているが、輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行う必要がある。</li> <li>小児科、産婦人科の常勤医師は十分に確保できているとは言えないことから、北和小児科二次輪番体制、北和産婦人科一次救急医療体制の参加に向けて、小児科、産婦人科の常勤医師を増員する必要がある。</li> </ul> <p>●平成 30 年度中間報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップに努めているが、輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関へ協議を行う必要がある。</li> <li>小児科の常勤医師は十分に確保できているとは言えないことから、北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、小児科の常勤医師を増員する必要がある。</li> </ul> <p>【参考値】 H30 年 4 月から H31 年 1 月 救急受入件数 1,600 件 救急応需率 94.5%</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。奈良県総合医療センター、近畿大学医学部奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急受入件数 2,000 件</li> <li>救急応需率 95.0%</li> <li>市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、救急医療の連携強化を図ります。</li> <li>市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。</li> <li>北和小児科二次輪番体制への参加に向けて、奈良県との情報交換をしながら、小児科常勤医師の増員に努めます。</li> <li>北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な県からの参加要請に対応できるように、産婦人科の常勤医師のさらなる確保に努めます。</li> </ul>
診療分野	稼働内容	稼働回数(1月あたり)																		
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5回																		
外科系		外科系 5回																		
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2回																		
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10回(※1)																		
	産婦人科(※2)	10回																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書										
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとりま す。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="115 296 578 693"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備しました。当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(休日夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師 1 名ないし 2 名の当直 専門医によるオンコール体制</li> <li>外来看護師 2・3 名の当直</li> <li>放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</li> </ul>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備しています。土曜日、日曜日、祝日を含めた当直・オンコール体制の充実を図りました。</p> <p>(休日夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 専門医によるオンコール体制</li> <li>外来看護師 2・3 名の当直</li> <li>放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</li> </ul>	<p>○平成 29 年度実施状況調査 ・医師、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の 24 時間 365 日の当直体制及び CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制が整えられているが、24 時間 365 日の医師 2 名体制の当直や専門医のオンコール体制のさらなる充実のため、常勤医師を増員する必要がある。</p> <p>●平成 30 年度中間報告 ・当直・オンコール体制に参加できる脳神経外科、整形外科の常勤医師を確保する必要があります。</p> <p>◎解決した課題 ・平成 30 年 4 月から 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名による休日夜間救急受入体制の整備</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。<u>特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</u></p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医師 1 名の夜間時間外担当医及び 1 名の常勤当直医 専門医によるオンコール体制</li> <li>外来看護師 2・3 名の当直</li> <li>放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直</li> </ul>
	人員体制													
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制													
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直													
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置													
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直													
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="115 961 578 1688"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科 (二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>		対応レベル	内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しました。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続した。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術も対応可能な体制を維持しています。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応しています。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	
	対応レベル													
内科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)													
外科・整形外科・脳神経外科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例：重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)													
小児科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可													
産婦人科 (二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X 線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)													

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の 1 名確保 (1 月) ・稼動病床数は、個室 4 床としました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制への参加を目指し、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席しました。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・常勤医師 2 名体制を目指し、1 名は平成 30 年 1 月から着任、もう 1 名の確保に努めています。 ・稼動病床数は 5 床 ・北和小児科二次輪番体制への参加はできていません。 ・下半期に開設を予定しているアレルギー外来については、受診患者及び市内小児科診療所の要望を勘案して、開設する予定です。</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査 ・小児科の常勤医師 1 名の確保により小児科の入院治療が再び可能となっているが、入院医療及び小児救急を充実させるためには、当直が可能な常勤医師を複数人確保する必要がある。</p> <p>●平成 30 年度中間報告 ・小児救急を実施するためには、当直が可能な常勤医師を複数人確保する必要がある。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について ・医師の人員体制は、常勤医師の確保により、常勤医師 2 名体制を目指します。 ・北和小児科二次輪番体制への参加を目指します。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備しました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 生駒市立病院災害対策マニュアルに沿って現場スタッフによる実地訓練を行いました。 ・8/29、12/8 消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・9/10 奈良県防災総合訓練 (トリアージ・患者受入訓練)</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制整備をはじめ、機能の強化に努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・消防訓練 上半期なし 下半期に実施予定。 ・4/27 院内防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練)</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査 ・災害対策マニュアルに沿って定期的に訓練を行い、生駒市で災害が発生した場合の医療救護体制を整えているが、大規模災害時の市や医師会をはじめとする市内医療機関との連携体制を構築する必要がある。</p> <p>●平成 30 年度中間報告 ・災害対策マニュアルに沿って定期的に訓練を行い、生駒市で災害が発生した場合の医療救護体制を整えている。今後は、大規模災害時の市や医師会をはじめとする市内医療機関との連携体制を構築する必要がある。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや地域住民による実地訓練を行います。 ・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練) 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、災害時の連携強化を図ります。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 胃がん(胃内視鏡)検診については、9 月 1 日から実施しています。 乳がん健診の実施に向けて、3 月に女性技師 1 名を確保しました。次年度にマンモグラフィを導入する予定です。</p> <p>・医療講演会の内容の充実(再掲) 54 講座 2,253 名参加 (自治会等各種団体への出張講座 3 回 225 名を含む)</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 112 件 胃がん検診 67 件 肝炎ウイルス検診 18 件 特定健診 931 件 一般健診 828 件 生活保護者等の健康診査 7 件 人間ドック・脳ドック 487 件 その他団体健診等 1,071 件</p> <p>・高齢者インフルエンザ予防接種(定期接種) 271 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>また、市民健診や予防接種については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、適宜実施しました。</p> <p>なお、今年度中にマンモグラフィの導入を予定しており、次年度以降のマンモグラフィによる乳がん検診の実施を目指します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 胃がん検診については、昨年 9 月 1 日から胃カメラ検診を実施できるようになりました。</p> <p>・医療講演会(再掲) 23 講座 参加者 1,008 名 出張講演会の募集を開始しています。</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 81 件 胃がん検診 89 件 肝炎ウイルス検診 7 件 特定健診 348 件 一般健診 387 件 生活保護者等の健康診査 7 件 人間ドック・脳ドック 257 件 その他団体健診等 1,305 件</p> <p>・高齢者インフルエンザ予防接種は下半期に実施予定</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査 ・市民の疾病予防を目的として医療講演会を開催しているが、市立病院として市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座も増やしていく必要がある。</p> <p>・市民健診や予防接種の件数が増加しているが、地域の診療所では対応できない、又は対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実させていく必要がある。</p> <p>●平成 30 年度中間報告 ・市民の疾病予防を目的として医療講演会を開催しているが、市立病院として市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座も増やしていく必要がある。</p> <p>・市民健診の件数が増加しているが、地域の診療所では対応できない、または対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実させていく必要がある。</p> <p>【参考値】 H30 年 4 月から H31 年 1 月</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 194 件 胃がん検診 170 件 肝炎ウイルス検診 14 件 特定健診 644 件 一般健診 551 件 生活保護者等の健康診査 7 件 人間ドック・脳ドック 496 件 その他団体健診等 1,497 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 321 件 肺炎球菌 140 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>また、市民健診については、地域の診療所では対応できない、又は対応できる医療機関が少ない二次健診等を充実していきます。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民への予防医療の啓発として、認知症やうつ病、在宅医療など、市民の要望が多いものの市立病院スタッフで対応できない分野について、市が実施する医療講演会等に対して協力します。 また、市民との交流、健康づくりを推進するため、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 乳がん検診など未実施の健診については、実施体制の整備と共に関係機関等と協議を行い、実施の方向で進めます。</p> <p>・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む) 月 4 回程度実施</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 220 件 胃がん(胃内視鏡)検診 200 件 肝炎ウイルス検診 40 件 特定健診 700 件 一般健診 550 件 人間ドック・脳ドック 550 件 その他団体健診等 1,100 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 330 件 肺炎球菌 150 件</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	平成 29 年度 事業報告	平成 30 年度 中間報告	課題等	平成 31 年度 生駒市立病院 事業計画書
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ご意見箱の意見及び改善の取組みについて、院内掲示、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会などへの報告など市民等に周知しました。 ・市立病院管理運営協議会開催 ・入院・外来患者アンケート調査(再掲) ・ご意見箱の内容に対する対応(再掲) 改善の取組について1階中央待合室に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業の開催について広く市民に周知し、実施しました。 ・健康フェスティバル 6/4 約 700 名参加 ・市立病院ロビーコンサート ムジークフェストなら 2017 6/11 約 140 名参加 ・クリスマスコンサート 12/3 135 名参加 ○市民ボランティア 市立病院 4 階中庭 植栽手入れなど</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民参加による病院運営を行いました。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み ・市立病院管理運営協議会開催</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の意見による改善の取組について、1 階中央待合室の掲示板に掲示するとともに、情報発信モニターに掲載しました。また、生駒市立病院管理運営協議会へ報告しました。</p> <p>○市民交流事業について 市立病院ロビーコンサートなど市民交流事業を広く市民に周知し、実施しました。</p> <p>・健康フェスティバル 6/3 約 400 名参加</p> <p>・市立病院ロビーコンサート 12 月 クリスマスコンサート予定</p> <p>○市民ボランティア ・市立病院 4 階中庭の植栽の手入れ等 ・元看護師が 2 階形成外科において、フットケア外来の患者の誘導にあっている。 ・下半期にボランティア活動に係る規約を作成予定</p>	<p>○平成 29 年度実施状況調査 ・アンケート調査やご意見箱の意見に対応することにより患者満足度の向上につなげていく仕組みはできているが、ご意見に対応できたもののほか、対応できないご意見についてなぜ対応できないのかをご理解いただけるよう、ホームページに「よくある質問」のページを設けて周知するなど、市民や患者が市立病院に対する理解や認識を深めるための取組を実施していく必要がある。</p> <p>○解決した課題 ・平成 30 年 10 月から、ホームページに、ご意見箱の改善事例について、掲載しました。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み <u>入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。</u> また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <p>・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査 ・ご意見箱の内容に対する対応</p> <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、市民交流事業を開催します。 ・健康フェスティバル ・院内コンサート等</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスに取組みました。</p> <p>・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・引き続き日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化に努めました。</p>		<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。 ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。</p>

収支計画

(単位：千円)

平成31年9月末		平成32年3月末	
医業収入	2,031,502	医業収入	4,229,311
医業費用	1,954,956	医業費用	4,013,116
医業利益	76,546	医業利益	216,195
その他費用	148,057	その他費用	296,115
医業外収益	21,000	医業外収益	42,000
医業外費用	5,100	医業外費用	10,200
経常利益	△ 55,611	経常利益	△ 48,120



平成 3 1 年 3 月 1 日

生駒市長 小 紫 雅 史 様

生駒市病院事業推進委員会  
委員長 関 本 美 穂

生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書について

(答申)

平成 3 1 年 3 月 1 日に諮問された生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書案について、本委員会において慎重に審議した結果、別紙のとおり答申します。

生駒市立病院の管理運営に関する  
年度協定書(諮問案)

## 生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書

生駒市（以下「甲」という。）と医療法人徳洲会（以下「乙」という。）とは、平成25年6月4日付けで締結した生駒市立病院の管理運営に関する基本協定書（以下「基本協定」という。）に基づき、平成31年度における取扱いについて、次のとおり協定（以下「年度協定」という。）を締結する。

### （年度協定の目的）

第1条 本年度協定は、基本協定に規定する指定管理者負担金及び基本協定に特別の定めのない事項について定めることを目的とする。

### （年度協定の期間）

第2条 本年度協定の期間は、平成31年4月1日から平成32年3月31日までとする。

### （指定管理者負担金）

第3条 基本協定第30条に規定する指定管理者負担金は、265,202,117円（取引に係る消費税及び地方消費税含む。）とする。

2 乙は、前項に規定する指定管理者負担金を、12回均等分割払いにより甲に支払うものとする。ただし、分割金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額は、初回の支払期日に係る分割金額に合算するものとする。

3 支払期日は、平成31年5月を初回とし毎月15日とするものとする。ただし、最終回の支払期日は平成32年3月31日までとする。

### （金額の変更）

第4条 本年度協定の締結後に生じた理由により、指定管理者負担金の金額を変更すべき事情が生じた場合には、甲乙協議の上、これを決定するものとする。

### （院内保育所の運営経費にかかる交付金）

第5条 甲は、特別交付税に関する省令（昭和51年自治省令第35号）に基づき甲に交付される生駒市立病院の院内保育所の運営に要する経費に係る特別交付税相当額について、別に定める「生駒市立病院運営交付金交付要綱」に基づき乙に交付するものとする。

### （協議事項）

第6条 本年度協定の各条項等の解釈について疑義が生じたとき、又は本年度協定に定めのない事項については、甲乙協議の上、これを決定するものとする。

この協定の締結を証するため、本書2通を作成し、甲と乙が記名押印の上、各自その1通を保有する。

平成31年4月1日

甲：生駒市東新町8番38号  
生駒市長 小紫 雅史

乙：大阪市北区梅田一丁目3番1-1200号  
医療法人 徳洲会  
理事長 鈴木 隆夫